

平成30年度

第1回広尾町総合教育会議 議案

日時：平成30年6月28日(木)

13:30～

場所：コミセン第1会議室

広 尾 町

広尾町教育大綱

(平成27年度～平成32年度)

豊かな心を育み文化を高めるまちづくり

将来を担う子どもたちが、社会で生き抜く力を身に付け、思いやりの心や責任感を育むことができるよう、学校、家庭、地域が連携し、子どもたちを守り育てます。

生涯を通じて学び続けることができる環境を整備し、だれもが心身ともに健康で生き生きと暮らせる環境をつくります。

教育、文化、スポーツの振興により豊かな心を育み、学習の成果が地域に生かされ、社会の発展に貢献できる人づくりを目指します。

1. 社会で生き抜く力を育てる

- ① 新しい知識、情報、技術に対応し、心豊かでたくましい子どもの育成を目指します。
- ② 自然体験や表現活動などを中心に、学びの原点である幼児教育の充実を目指します。
- ③ 「確かな学力」「思いやりの心」「健やかな体力」を養い、子どもたちが社会で生き抜く力を育てます。
- ④ 安全で安心できる学校施設の整備と学習環境の充実を図ります。
- ⑤ 中高一貫教育をはじめとする特色ある学校づくりを目指します。

2. 生涯を学びゆとりを育む

- ① 学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成に取り組むとともに、家庭教育の向上を目指します。
- ② 生涯学習情報の提供に努め、経験や技能を活用した世代間交流の展開を目指します。
- ③ 芸術鑑賞の機会を提供し、自発的な文化活動を促進します。
- ④ 地域の特色ある文化財・郷土芸能を保存・伝承し、創造性豊かなまちとしての魅力向上を目指します。
- ⑤ 誰もが気軽にスポーツを楽しみ、心身ともに健康に生き生きと暮らせる環境づくりを目指します。

次 第

1 開会

2 町長あいさつ

3 協議・調整事項

(1) コミュニティスクールに関するアンケート調査の結果について

．．．．．P 1～8

(2) 教職員の働き方改革について

(別冊:学校における働き方改革広尾町アクション・プラン(素案))

(3) 広尾高校存続対策について ．．．．．P 9

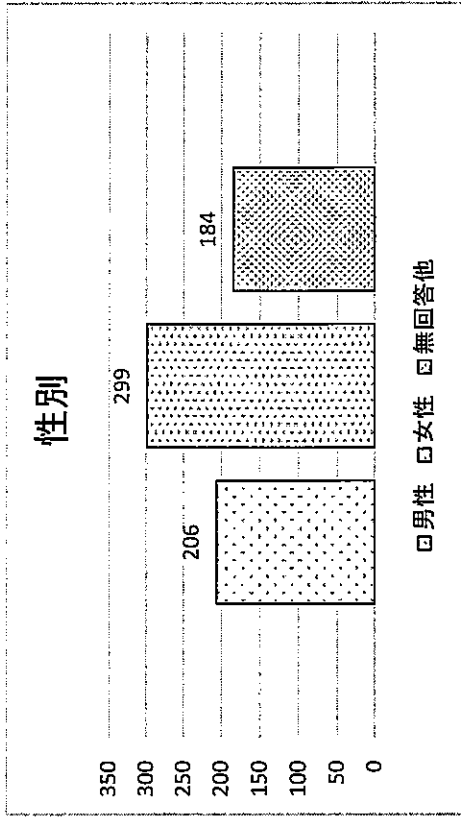
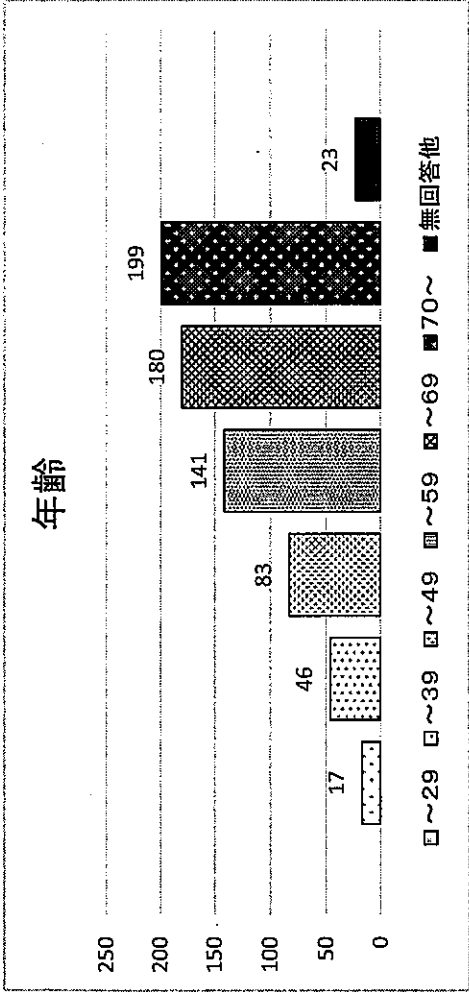
(別冊:広尾高等学校の現況と広尾町からの支援事業 等)

(4) その他

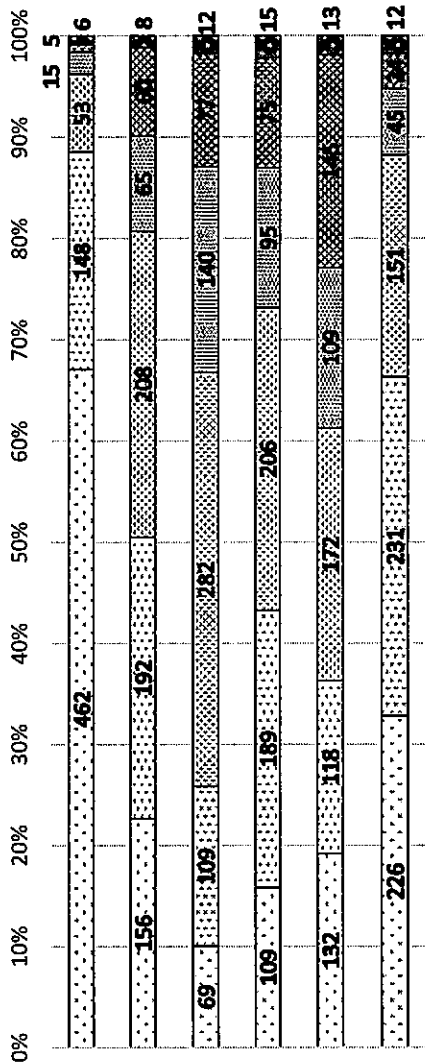
4 閉会

学校と地域に関するアンケート調査（住民用）結果

広尾町教育委員会



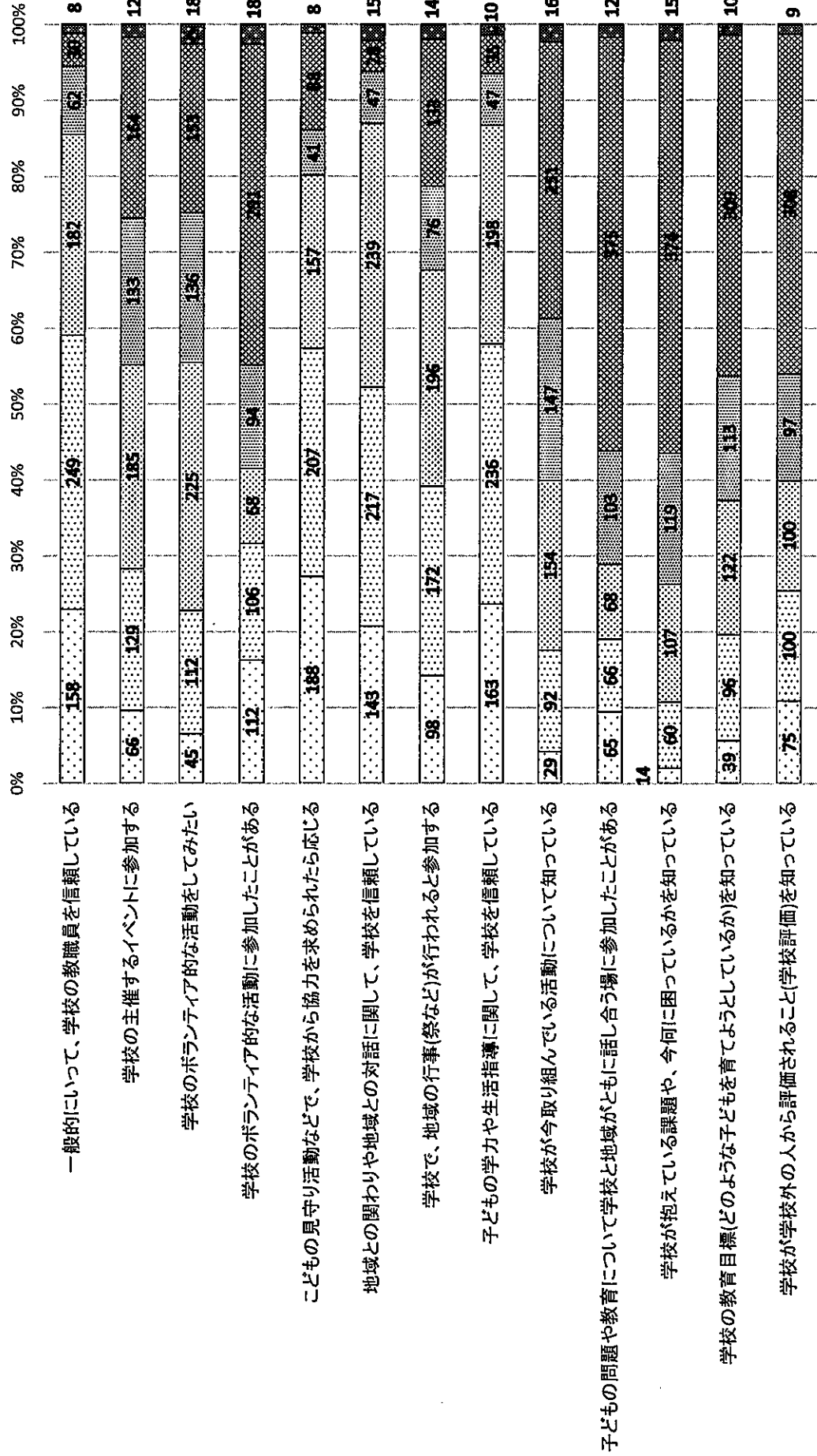
地域と学校の関係



子どもを育てるには、地域と学校の連携が必要だ
学校への地域のかかわりは、学校から求められる部分ですのがよい
地域の活性化は、学校を中心に行うことが必要だ
地域が口出しすると、学校は子どもの教育をやりづらくなる
学校はあくまで「子どものためのもの」であって「地域のためのもの」ではない
学校をよくすることで地域そのものがよくなる

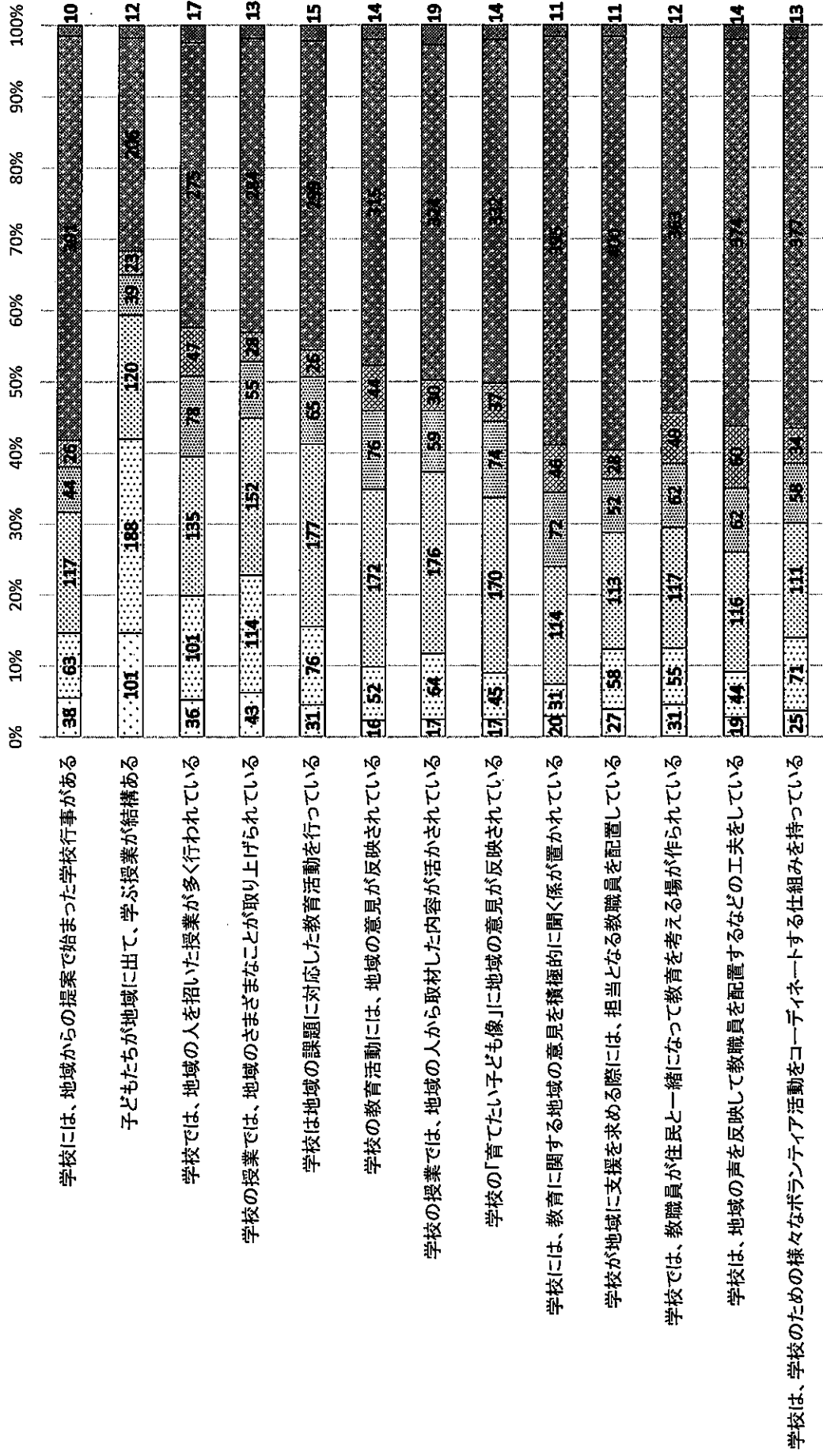
□ そう思う □ ややそう思う □ どちらとも □ あまりそう思わない □ そう思わない □ 無回答他

あなたと学校のかかわり



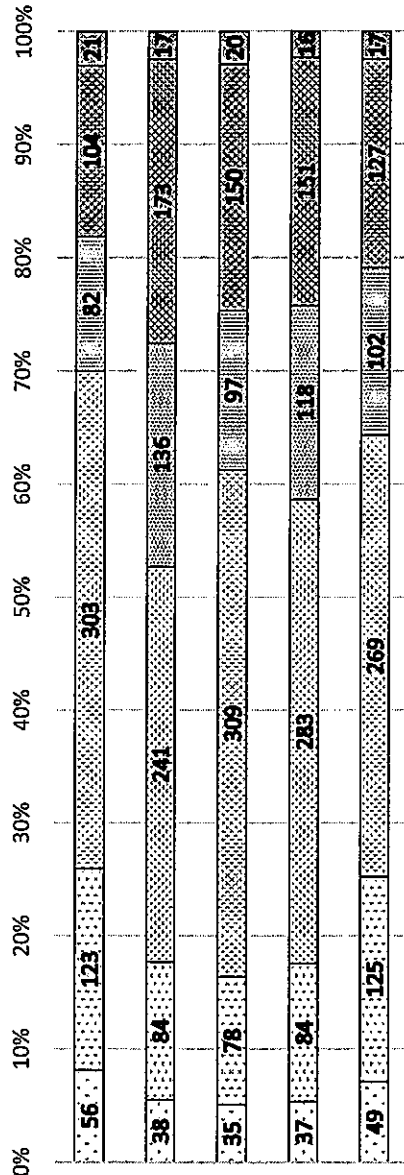
口当てはまる 口やや当てはまる 口どちらとも 口あまり当てはまらない 口当てはまらない 口無回答他

あなたの地域の学校



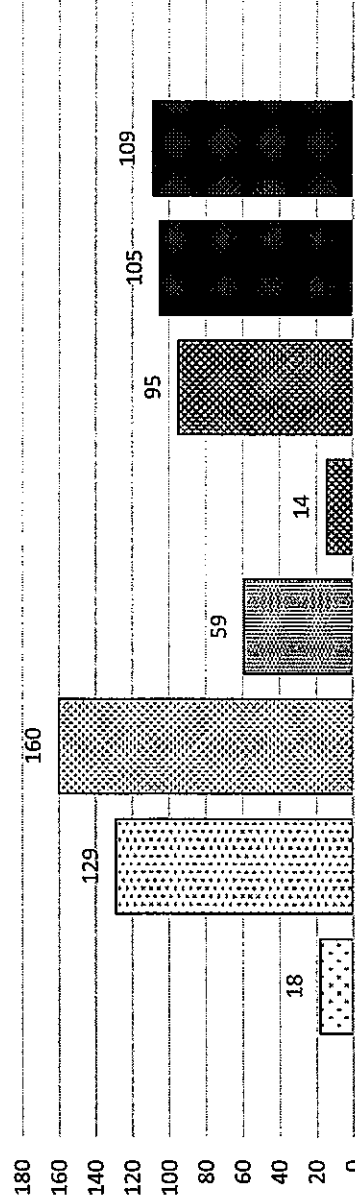
口当てはまる 口やや当てはまる 口どちらとも 口あまり当てはまらない 口当てはまらない 口わからない 口無回答他

地域が学校の運営に携わる仕組み



□賛成 □やや賛成 □どちらとも □やや反対 □反対 □無回答

学校の運営に携わる住民の代表



「運営に携わる住民の代表」に、どのような人を当てるのがよいと思いますか

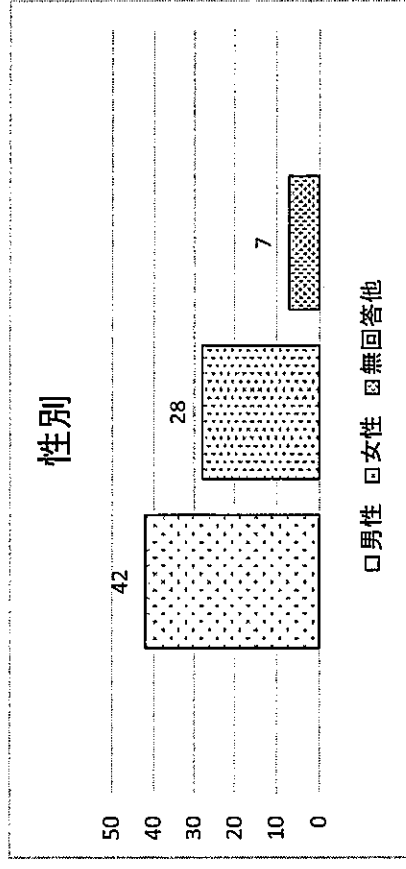
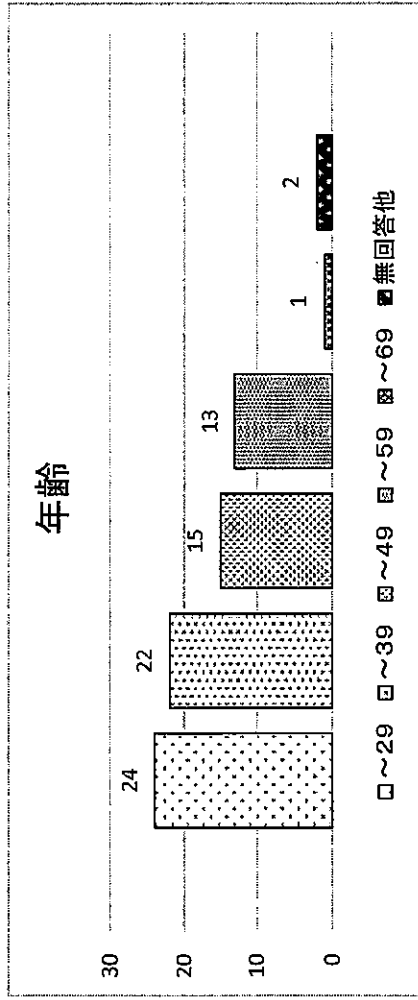
□校長が選んだ人 □教育委員会が選んだ人 □PTA会長など □自治会長など
 □社会教育に関係する人 □NPOなどの人 □選挙などで選ばれた人 □無回答

町民アンケートの概要

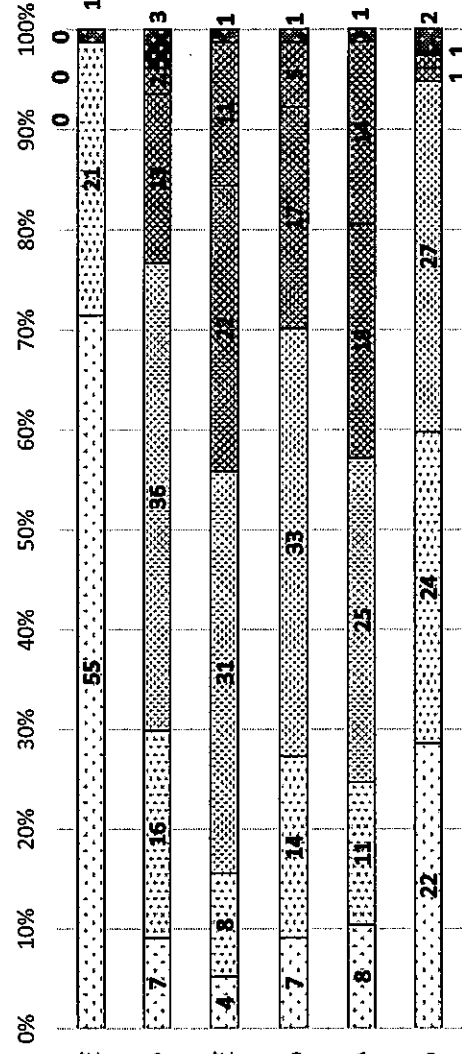
実施期日 平成30年4月～5月
 方法 質問紙を町内会経由で配布
 返信用封筒で回収
 質問内容 教職員は学校経由で配布・回収
 住民用 40項目
 教職員用 40項目
 配布数 3400世帯(5月末全世帯数)
 回答者数 住民 689人(20.3%)
 教職員 77人(100%)
 実施 広尾町教育委員会管理課

学校と地域に関するアンケート調査（教職員用）結果

広尾町教育委員会

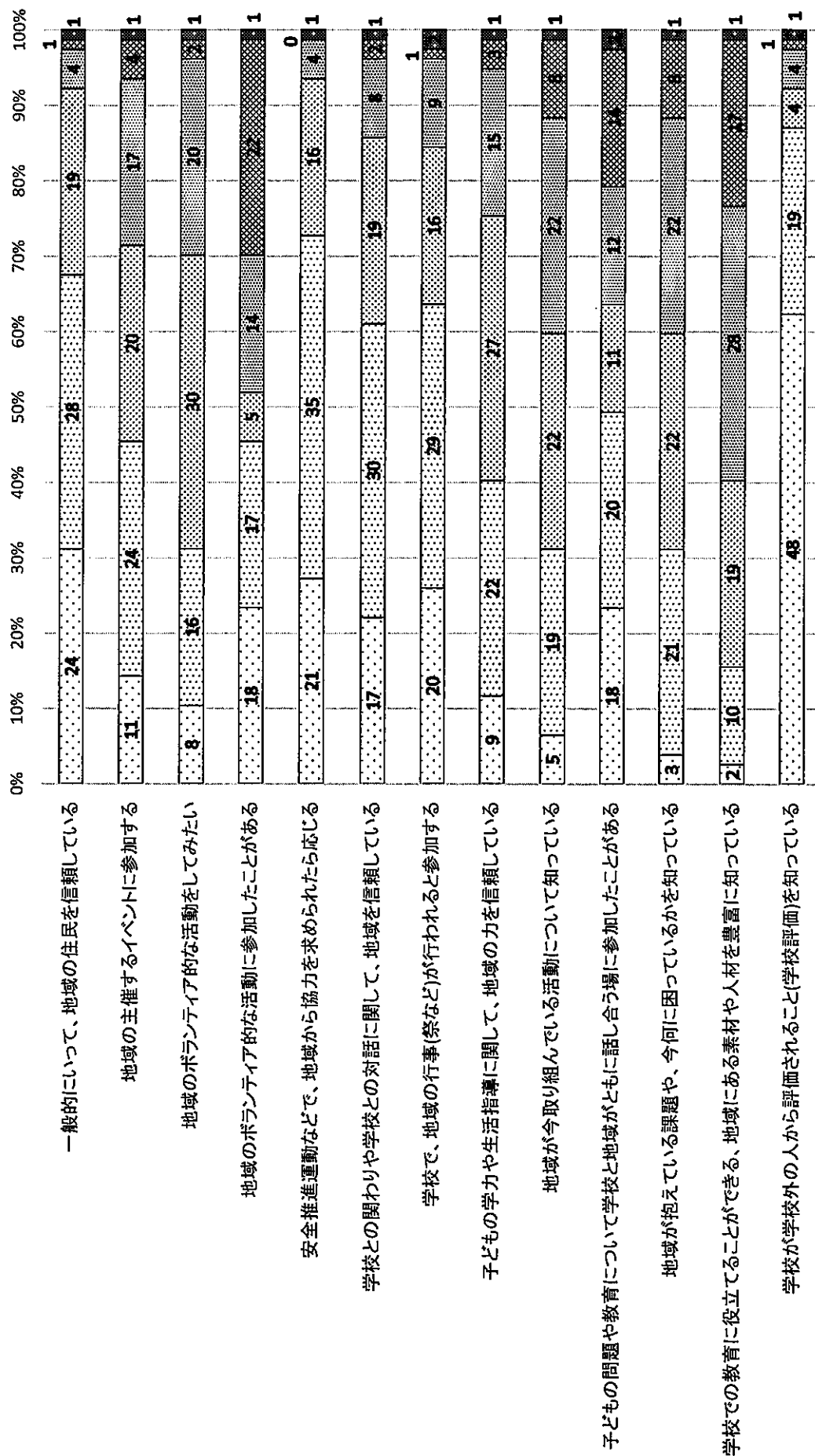


地域と学校の関係



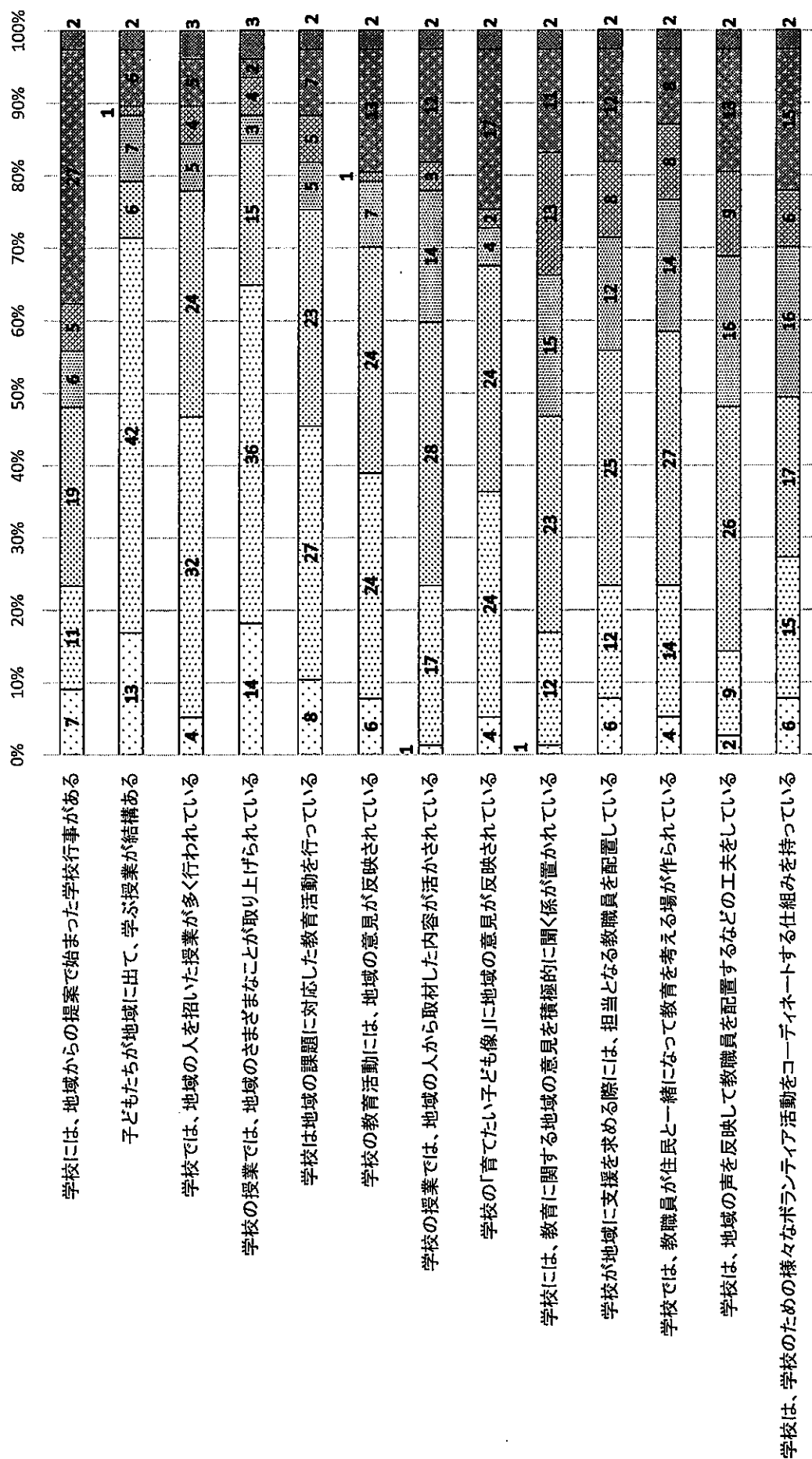
子どもを育てるには、地域と学校の連携が必要だ
学校への地域のかかわりは、学校から求められる部分ですのがよい
地域の活性化は、学校を中心に行うことが必要だ
地域が口出しすると、学校は子どもの教育をやりづらくなる
学校はあくまで「子どものためのもの」であって「地域のためのもの」ではない
学校をよくすることで地域そのものがよくなる

あなたと地域のかかわり



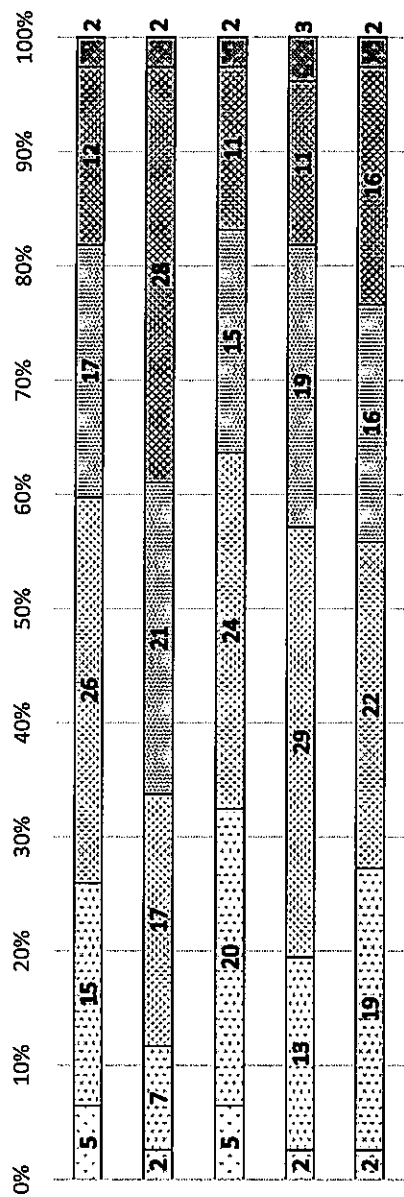
□ 当てはまる □ やや当てはまる □ どちらとも □ あまり当てはまらない □ 当てはまらない □ 無回答他

勤務している学校



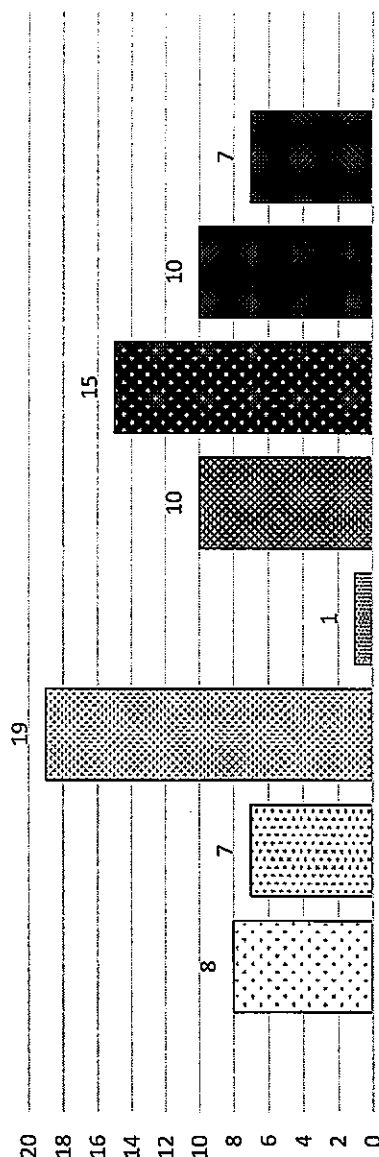
☐ 当てはまる ☐ やや当てはまる ☐ どちらとも ☐ 当てはまらない ☐ 分からない ☐ 無回答他

地域が学校の運営に携わる仕組み



□ 賛成 □ やや賛成 □ どちらとも □ やや反対 □ 反対 □ 無回答他

学校の運営に携わる住民の代表



「運営に携わる住民の代表」に、どのような人を当てるのがよいと思いますか

□ 校長が選んだ人 □ 教育委員会が選んだ人 □ P T A 会長など □ 自治会長など
 □ 社会教育関係の人 □ N P O の人など ■ 選挙などで選ばれた人 ■ 無回答他

町民アンケートの概要

実施期日 平成30年4月～5月
 方法 質問紙を町内会経由で配布
 返信用封筒で回収
 質問内容 住民用 40項目
 教職員用 40項目
 配布数 3400世帯(5月末全世帯数)
 回答者数 住民 689人(20.3%)
 教職員 77人(100%)
 実施 広尾町教育委員会管理課

平成 30 年度 事業計画 (案)

1 総会開催

日 時 平成 30 年 7 月 24 日 (火) 午後 2 時 00 分～
場 所 広尾町コミュニティセンター 大ホール
議 件 平成 29 年度事業報告・会計決算報告
平成 30 年度事業計画 (案)・会計予算 (案)
存続に向けた情報・意見交換

2 広尾高等学校存続要請活動

関係機関への要請 (随時)

3 広尾高等学校存続 P R 活動

- (1) 広尾高校・広尾町ホームページによる P R
卒業生の進路状況等や町支援策の周知
- (2) P R チラシの配布及び P R ポスターの作成
内容：町支援事業 (別紙のとおり)
チラシ配布：生徒・保護者並びに町広報誌及び南十勝町村、帯広市南部及びえりも町目黒、様似町に新聞折り込み
ポスター掲示：学校はもとより、主要な公共施設や商店等への掲示依頼。別紙 (案)
- (3) 広尾高等学校存続町民総決起集会
内容：町民総決起集会を開催し、北海道教育委員会への存続要請活動を行う
- (4) 保護者への P R
進路説明会 (学校主催) 時における保護者を対象に P R
- (5) 進路相談時における広尾高校 P R 要請
二者面談、三者面談時における担任等からの広尾高校 P R

4 その他存続関連事業

- (1) 広尾中学校生徒と広尾高校生徒との「語り場」の実施 (広尾中学校：中高一貫教育事業)
- (2) 広尾高校生進学希望者を対象に大手進学予備校の夏期・冬期講習会参加 (中高一貫教育事業)
- (3) 広尾高校生徒下宿等費の助成 (月額上限 5 万円)
- (4) 部活動や学習支援に外部人材の活用事業
- (5) その他、広尾町からの支援事業－別添説明資料 6 ページ

5 その他

学校における働き方改革
広尾町アクション・プラン
(素案)

平成 3 0 年 月
広尾町教育委員会

(2) 今後の検討課題

- ・部活動指導員の制度化を広く周知し、各種大会や練習試合等への生徒引率も可能な部活動指導員の配置を検討します。

3 複数顧問の効果的な活用

(1) 現在の取組

- ・一人の教職員に過度の負担がかからないように、複数顧問を配置しています。

(2) 今後の検討課題

- ・現在の取組を継続します。
- ・学校の規模に応じて部活動数を適正に配置するとともに、生徒がスポーツ等を行う機会が失われることのないよう複数の学校や広尾高校による合同部活動等を積極的に進める。

IV. 勤務時間の意識した働き方の推進と学校運営体制の充実

1 ワークライフバランスを意識した働き方改革の推進

(1) 現在の取組

- ・管理職や教職員に対して、勤務時間について改めて意識を持って勤務するよう、意識啓発を図っています。

(2) 今後の検討課題

- ・月2回以上の「定時退勤日」を設定します。
- ・退庁時間（午後8時）を設定します。

2 長期休業期間中における「学校閉庁日」の設定

(1) 現在の取組

- ・年末年始期間は、実質学校閉庁日と同様の対応となっています。

(2) 今後の検討課題

- ・各学校が夏季・冬季休業期間内で合わせて3日の学校閉庁日（年間9日間）を設定することにより、教職員の年次有給休暇を取得しやすい環境を整えます。

3 勤務時間を客観的に把握する仕組みの構築

(1) 現在の取組

- ・特に把握する仕組みはありません。

(2) 今後の検討課題

- ・パソコンを活用した勤務時間を把握する仕組みを構築します。

4 管理職のマネジメント研修等の充実

(1) 現在の取組

- ・様々な機会を通じ、管理職自らが勤務時間を意識するように促し、各学校での時間外勤務縮減に向けた取組を推進しています。

(2) 今後の検討課題

- ・道教委が実施する各種管理職員研修に参加し、組織管理や時間管理、健康安全管理等のマネジメント研修を通じて、意識改革と実践力の向上を図ります。
- ・各学校管理職が、学校運営協議会で承認されるよう、各学校でのカリキュラム・マネジメントの推進に努めます。

5 事務機能の強化・業務の効率化

(1) 現在の取組

- ・事務職員と連携を図り、効率的な事務を行っています。

(2) 今後の検討課題

- ・教員と事務職員との一層の業務連携等により業務を見直し、事務機能の強化と業務の効率化を図ります。
- ・各学校管理職による、各学校でのカリキュラム・マネジメントの推進に努めます。

V. 教育委員会による学校サポートの充実

1 調査業務の見直し

(1) 現在の取組

- ・十勝教育局等から発信された書類（電子データ）を、そのまま送信しています。

(2) 今後の検討課題

- ・学校に送信する書類（電子データ）を精査し、縮減に努めます。

- ・書類の定時送信（発出）に努めます。
- ・各種団体等から学校に対する行事参加への参加や作品の応募依頼等について、学校現場の負担解消のため、各種団体等への理解促進を図ります。
- ・各種団体の統合見直しを行い、教職員の業務負担軽減に努めます。

2 勤務管理に関する各制度の利用の徹底

（1）現在の取組

- ・週休日の振替や変形労働時間制度、勤務のスライドを活用しています。

（2）今後の検討課題

- ・現在の取組を継続します。

3 保護者や地域住民等の理解を得るための取り組みの促進

（1）現在の取組

- ・学校だよりを毎月発行しています。

（2）今後の検討課題

- ・教員の時間外縮減の取組に対する保護者、地域住民、役場各課の理解促進を図ります。
- ・学校運営協議会を通して、学校からの情報発信に努め、地域からの協力による業務軽減に努めます。

VI. その他の取組

（1）現在の取組

- ・教職員の業務全般の洗い出しはしていません。

（2）今後の検討課題

- ・教職員の全業務を洗い出し①教師でなければ出来ないこと、②外部機関や他の部署でできること、③削減できることに業務仕分けし、どのような方法で働き方を変化させることが出来るかを検討します。

VII. 終わりに

教職員の長時間勤務の実態は看過できない状況にあり、教育の質の確保のためにも、保護者や地域を含め、子どもたちの教育に携わる全ての関係者がこうした実態を共有し、

改革に向けて取り組むことが求められております。

広尾町教育委員会としましては、本稿で整理した事項のうち、改善できることは直ちに着手し、検討が必要な事については、関係機関との協議のうえ、具現化してまいります。

また、今後も必要に応じて、学校現場の業務改善に向けた取組を推進します。



広尾高等学校の現況と広尾町からの支援事業 等

北海道広尾高等学校存続対策協議会

(2) 広尾高校生徒数・学級数の推移と学校の主な沿革

年 度	生徒数	増 減	学級数	主 な 沿 革
5 5	4 6 5	2 2	1 1	普通科・商業科／新校舎完成
5 6	4 6 7	2	1 2	普通科 1 間口増／創立 30 周年記念式典
5 7	4 4 0	△ 2 7	1 2	
5 8	4 5 2	1 2	1 2	
5 9	4 8 5	3 3	1 2	全国高等学校野球選手権大会出場（甲子園出場）
6 0	5 1 0	2 5	1 2	
6 1	5 2 6	1 6	1 2	水泳プール新設
6 2	5 1 1	△ 1 5	1 2	
6 3	4 9 2	△ 1 9	1 2	
元	4 5 9	△ 3 3	1 2	創立 40 周年記念式典
2	4 1 4	△ 4 5	1 1	普通科 1 間口減
3	3 6 1	△ 5 3	1 0	
4	3 3 7	△ 2 4	9	
5	3 3 3	△ 4	9	
6	3 3 8	5	1 0	普通科 1 間口増
7	3 1 3	△ 2 5	1 0	商業科募集停止（普通科 3 間口）
8	2 9 8	△ 1 5	1 0	格技場完成
9	2 7 4	△ 2 4	9	普通科
1 0	2 7 6	2	9	
1 1	2 8 6	1 0	9	
1 2	2 8 6	0	9	創立 50 周年記念式典
1 3	2 8 5	△ 1	9	校舎大規模改修（第 1 期）
1 4	2 8 5	0	9	校舎大規模改修（第 2 期）
1 5	2 6 3	△ 2 2	9	
1 6	2 7 0	7	9	
1 7	2 6 7	△ 3	9	道立高校通学区域規則改正（十勝全学区となる。）
1 8	2 6 2	△ 5	8	普通科 1 間口減／中高一貫教育開始
1 9	2 4 1	△ 2 1	7	
2 0	2 1 4	△ 2 7	6	新体育館完成
2 1	2 0 2	△ 1 2	6	
2 2	1 9 5	△ 7	6	
2 3	1 7 7	△ 1 8	6	
2 4	1 6 1	△ 1 6	6	中高一貫教育実践発表会
2 5	1 5 4	△ 7	6	
2 6	1 5 6	2	6	
2 7	1 4 4	△ 1 2	5	基準により 1 学年 1 学級
2 8	1 2 9	△ 1 5	5	
2 9	1 3 1	2	5	
3 0	1 3 2	1	5	

(3) 広尾高校生徒の出身中学校

出身中学校	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
広 尾 中	54	49	38	38	43	36
豊 似 中					2	
忠 類 中					1	
大 樹 中						2
更別中央中				1		
えりも中	1	2		3	5	2
札幌真駒内中				1		
相原中(神奈川)	1					
若松中(福岡)		1				
合 計	56	52	38	43	51	40

(各年度1年入学時)

(4) 広尾高校生徒の居住地

居 住 地	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
広 尾 町	55	51	38	40	45	38
えりも町	1	1		3	5	
幕 別 町					1	
大 樹 町						2
合 計	56	52	38	43	51	40

(各年度1年入学時)

(5) 広尾高校生徒の通学状況

通 学 手 段	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
徒 歩	2	8	2	5	10	9
自 転 車	49	41	33	32	34	27
バス(JR)	1			3		
バス(十勝)	3	1	3	1	5	4
保護者送迎	1	2		2	2	
合 計	56	52	38	43	51	40

(各年度1年入学時)

(6) 広尾高校卒業生の進路

		27年度			28年度			29年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
在籍者数		25	31	56	27	22	49	22	15	37
大学	国公立	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	私立	5	2	7	4	5	9	4	2	6
短大	国公立	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	私立	1	1	2	0	2	2	1	0	1
高等看護学校		0	7	7	0	3	3	0	2	2
専門学校		12	11	23	11	4	15	6	7	13
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
進学決定者小計		19	22	41	16	15	31	12	12	24
就職	公務員	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	広尾町内	4	5	9	3	3	6	5	0	5
	十勝管内	0	4	4	7	3	10	1	3	4
	道内	2	0	2	0	0	0	3	0	3
	道外	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就職決定者小計		6	9	15	11	7	18	10	3	13
決定者数合計		25	31	56	27	22	49	22	15	37

(各年3月31日現在)

【過去3年間の主な進路先】

主な進学先	小樽商大・釧路公立大・室蘭工大・北見工大・名寄市立大学・北海道薬科大・北海道医療大・札幌保健医療大・北海学園大・札幌学院大・札幌国際大・道科学大・藤女子大・大阪総合保育大・日本医療大・酪農学園大学・北海道文教大学・看護(専門)学校・各専門学校・各短大 他
主な就職先	広尾町役場・広尾漁協・広尾町農協・十勝海運・農協サイロ㈱・㈱ノースプロダクション・広尾町養護老人ホーム・日高信用金庫・拓殖工業・田中建設・十勝建装・広和堂・高堂建設㈱・日通帯広運輸㈱・㈱ホリタ・㈱イタックス・広尾中央歯科・橘産業・渡部左官・六花亭・中札内農業協同組合・播磨建設工業㈱・㈱ルーキーファーム・SBSフレックネット㈱・ネッツトヨタ帯広・アルムシステム・なかの歯科・アグリスタッフ・ラディッシュ・ほくおうサービス・ケアステーションひかり・エーワン・メディカルシャトー・シュルリアル・㈱福原・帯広至心寮・㈱大平原観光ホテル・㈲ホテル十勝屋・敦賀リゾート㈱・㈲さんかい他

(7) 広尾高校生徒会部活動入部状況

体 育 系		文 科 系	
種 目	部員数	種 目	部員数
野 球	14	吹 奏 楽	18
サッカー	12	写 真	8
バスケットボール	12	書 道	6
バレーボール	3	ボランティア局	20
ソフトテニス	7		
バドミントン	10		
卓 球	14		
陸上競技	6		
柔 道	4		
剣 道	3		
計 (10種目)	85	計 (4種目)	52

(平成30年5月1日現在)

(8) 広尾高校職員数

(単位：人)

校 長	教 頭	教 諭	養 護	事 務	事務生	環境整備員	合 計
1	1	15	1	2	1	1	23

(平成30年5月1日現在)

Ⅱ 広尾町からの支援事業

(1) 広尾高校生徒に対する広尾町からの支援事業

(単位：千円)

会計名	事業名	事業費			
		27年度	28年度	29年度	30年度 (予算額)
中高一貫教育推進協議会会計	資格取得検定料助成	637	548	528	600
	進学・就職模試助成	1,142	1,340	918	1,400
	部活動活性化支援助成	1,157	1,053	1,114	960
	インターネット配信 講座受講助成	618	578	520	780
	学力調査用紙購入	224	254	352	360
	進学予備校講義受講	1,278	1,334	2,280	2,278
	小計	5,056	5,107	5,712	6,378
一般会計	遠距離通学費助成	954	1,347	1,684	2,479
	下宿等費助成	—	—	2,820	4,200
	学校給食提供	一食300円 86人希望	一食300円 88人希望	一食300円 81人希望	一食300円 100人希望
他	海外研修助成	1,165	1,009	1,242	1,370
合計		7,175	7,463	11,458	14,427

高等学校配置計画検討資料

資料 7

資料 7

1 中卒者の状況及び調整計画

市町村	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	H34～H37の増減		H34～H37の増減	
														37	38	37	38
市	1,518	1,501	1,591	1,500	1,471	1,470	1,375	1,351	1,343	1,281	1,312	1,301	1,314	1,316	49	59	1,319
市	491	488	514	510	493	499	498	515	517	455	461	449	480	434	21	64	405
市	57	56	51	59	55	49	57	71	51	69	64	60	58	50	19	7	57
市	40	42	41	33	41	42	38	38	33	44	43	44	38	32	9	2	36
市	225	193	215	214	229	198	223	231	194	198	220	204	199	113	25	50	171
市	298	273	335	287	284	283	297	284	284	284	293	280	292	227	37	70	251
市	48	46	52	63	68	65	53	64	56	63	58	50	49	56	7	9	47
市	44	41	49	40	51	49	44	46	41	35	42	33	45	44	9	35	36
市	85	78	78	84	87	86	81	77	76	76	61	77	67	64	12	17	88
市	31	38	46	38	44	33	27	21	35	37	39	41	31	38	1	11	31
市	41	39	44	23	34	34	20	26	40	29	31	27	32	31	2	11	29
市	48	46	49	42	32	44	46	45	41	39	47	46	54	51	12	5	50
市	76	85	74	68	67	66	62	56	61	47	49	47	40	53	6	9	40
市	80	65	75	64	54	49	70	52	51	45	42	43	31	40	5	30	32
市	33	27	21	24	17	39	21	32	17	20	19	22	18	16	4	16	16
市	81	80	73	61	55	57	54	52	47	57	34	51	46	34	29	20	47
市	61	47	58	48	52	52	58	52	58	59	57	58	47	50	9	8	41
市	32	23	15	21	18	21	13	14	16	14	16	17	26	15	1	2	20
市	45	39	46	52	28	41	30	37	32	31	27	39	28	42	11	12	30
市	3,434	3,174	3,424	3,220	3,190	3,107	3,057	3,054	2,951	2,848	2,892	2,865	2,895	2,765	82	301	2,745
市	64	260	250	204	30	83	40	13	93	113	4	13	40	59	-	20	20

2 定員及び欠員 (平成30年度)

学校種別	全日：普		全日：雙		定時 Cl	定時 定員	計	30年度欠員		
	Cl	定員	Cl	定員				全普	全雙	定時
都立柏栗	1	280			1	40	320		24	
都立三条	6	240					240	-1		
都立鶴見	4	160					160			
都立工業			4	160			160			
都立舟橋			5	200			200			
都立南越			5	200			200			
都立南越	4	160					160	21		
* 都立南越										
都立七橋			2	80			80		10	
都立上原	2	80					80	30		
都立翠	4	160					160			
都立別	1	40					40	17		
都立藤沢	2	80					80	22		
都立清水	3	120					120	23		
都立南越			2	80			80	32		
都立大層	2	80					80	32		
都立辰田	1	40					40			
都立辰田	2	80					80	15		
都立本町	1	40					40	8		
都立足寄	2	80					80	13		
公立計	41	1,640	18	720	1	40	2,400	186	42	24
都立大谷		260					260	-76		
白樺学園		188					188	51		
都立北		230					230	103		
立教		80		31			111	-14	22	
都立計		768		31			795	64	22	
合計	41	2,398	18	751	1	40	3,195	250	64	24
割合		78.2		24.7		1.3	104.2			

自來區	流入	流出	總出入
-----	----	----	-----